

# 基礎力向上委員会事業計画

基礎力向上委員会 委員長 大根田 元

時代や環境の変化とともに活動してきた真岡青年会議所は、本年度、過半数が在籍年数3年未満で構成されており、新たな発想と力の可能性を秘めた組織ですが、それぞれの能力を発揮する力や引き出す能力が低下しています。また、J C運動とSDG sを結びつけ取り入れることでより一層の効果が期待できますが、認知度が低いのが現状であり、活動を通して多角的に物事を考え本質を捉えることができる基礎力の向上が必要です。

まずは、参加者にSDG sを認識してもらい日々の生活や仕事、活動に結び付けてもらうために、SDG sを学び得る機会を提供することで、幅広い視野から多角的に物事を考え本質を捉える力を養うとともに社会貢献を軸に考え生活や仕事、活動が出来る基礎力を身に付けます。そして、メンバーの成長を助勢し力の可能性を引き出すために、一人ひとりが自らを律し自らを磨きあげる機会を提供することで、「今」を考え自分自身と向き合い仲間と共に揺るぎない信念を邁進する力を身に付けます。さらに、社会推進を元に次代に繋がる基礎力の向上と組織力を高めるために、活動の基本である「修練・奉仕」を共通体験や経験する機会を提供することで、更なる仲間としての「友情」を醸成し次代への思考力を育成させるとともに地域になくてはならない真岡青年会議所へと飛躍します。また、一步先の自分に挑戦する意識を高めるために、1年間を通して各委員長が先導しながら事業の本質を共有しメンバーに伝播することで、参加意欲の向上に繋がり、仲間との経験を通して、それぞれの力を組織だけでなく多方面で発揮することができる人材になります。

一人ひとりが組織の一員である責任と誇りを持ち、多角的に物事の本質を捉える基礎力を身に付け新たな力の可能性を発揮し、仲間や愛する地域の為に活動してきたことで固い絆で結ばれ、次代への志高き人材を育成し続ける力を身に付けた人材になります。

## <事業計画>

1. これからの人材育成を行う運動の実施
2. SDG s理解推進を行う事業の実施
3. 全員で動く実働的な会員拡大
4. 2021年 とちぎ宇都宮大会へ向けて日本青年会議所、関東地区協議会、栃木ブロックへの参加及び協力